

踏切直前での警報開始に対するドライバーの運転行動評価

松本真吾 羽山和紀 畠山直 柴田徹

踏切通行時の一旦停止を行わない場合の安全性における影響において、踏切接近時に警報が開始した場合、ドライバーの不適切な行動により、遮断開始後に踏切に進入する直前横断について評価した。

警報開始時の自動車の位置による停止／進進行動の判断の割合を、ドライビングシミュレータによる実験で測定し、停止／進進行動の割合とブレーキの反応時間により、踏切手前で停止できない位置での誤停止、踏切遮断前に進入できない位置での誤進入の割合を評価した。停止確率と、警報開始時の自動車の位置から求まる踏切までの到達時間の関係は、右図の曲線で表される。

ある地域における踏切データおよび事故実績から、誤進入による遮断かん折損数を試算したところ、現状

の設定のままでは6倍に増加し、安全性の点で問題があることがわかった。

(鉄道総研報告, 2010年11月号)

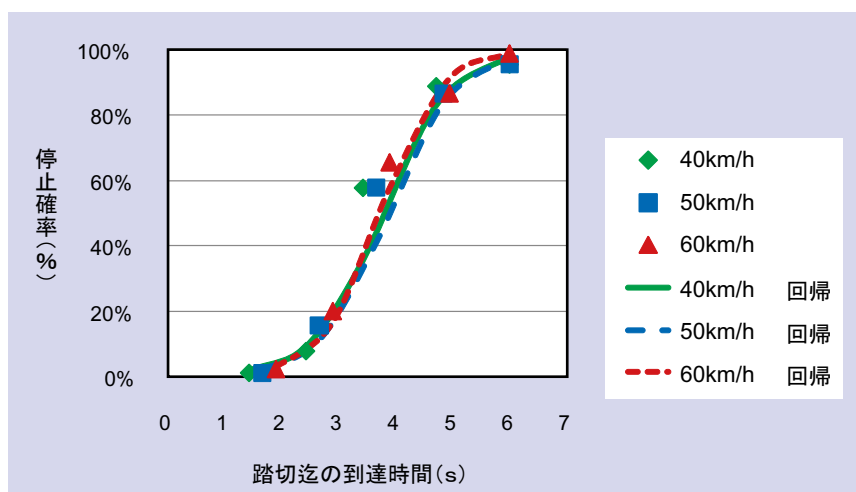


図 警報開始時の車の位置と停止確率の関係